

各公園 提案を求める事業イメージ

令和6年 11月

大阪府

提案を求める事業イメージ（山田池公園）

■活用施設の概要

番号	箇所名	概要	利用状況	収入
①	パークセンター及びその周辺	・面積：約0.2ha（パークセンター含む） ・パークセンター：設置年度：平成18年度 建築面積：473.41m ²	・会議室、展示等に利用されている。	なし
②	実りの里及びその周辺（川原広場含む）	・面積：約6.5ha（川原広場、コテージガーデン、旧事務所跡を含む） ・実りの里（平成23年度開設）：棚田、果樹園、芝生広場200m ² （令和7年春完成） ・川原広場（平成29年度開設）：四阿2棟、パーゴラ1棟、しだれ桜1本 ・自主事業で有料BBQ実施	・収穫体験等が行われている。	・有料BBQ（自主事業収入） R5 2,698千円 （自主事業支出） R5 878千円
③	旧事務所及びその周辺	面積：約0.1ha 建物 設置年度：昭和61年度 旧工区事務所 建築面積：102.28m ² 倉庫 建築面積：約50m ²	・特に利用されていないため、活用する余地がある。	なし
④	コテージガーデン	・開設年度 平成18年度 ・面積：約0.5ha	・散策利用も少なく、さらなる活用の余地がある。	なし
⑤	池せせらぎ（石舞台含む）	・設置年度 平成7年度～平成20年度 ・面積：約4.1ha ・遊水ゾーン0.6ha、湿地ゾーンの一部0.3ha、ラベンダー畑0.3ha	・散策利用も少なく、さらなる活用の余地がある。 ・農業用水の利用がある。	なし
⑥	芝生広場	・面積 約1.6ha	・イベントの実施が少ない。	なし

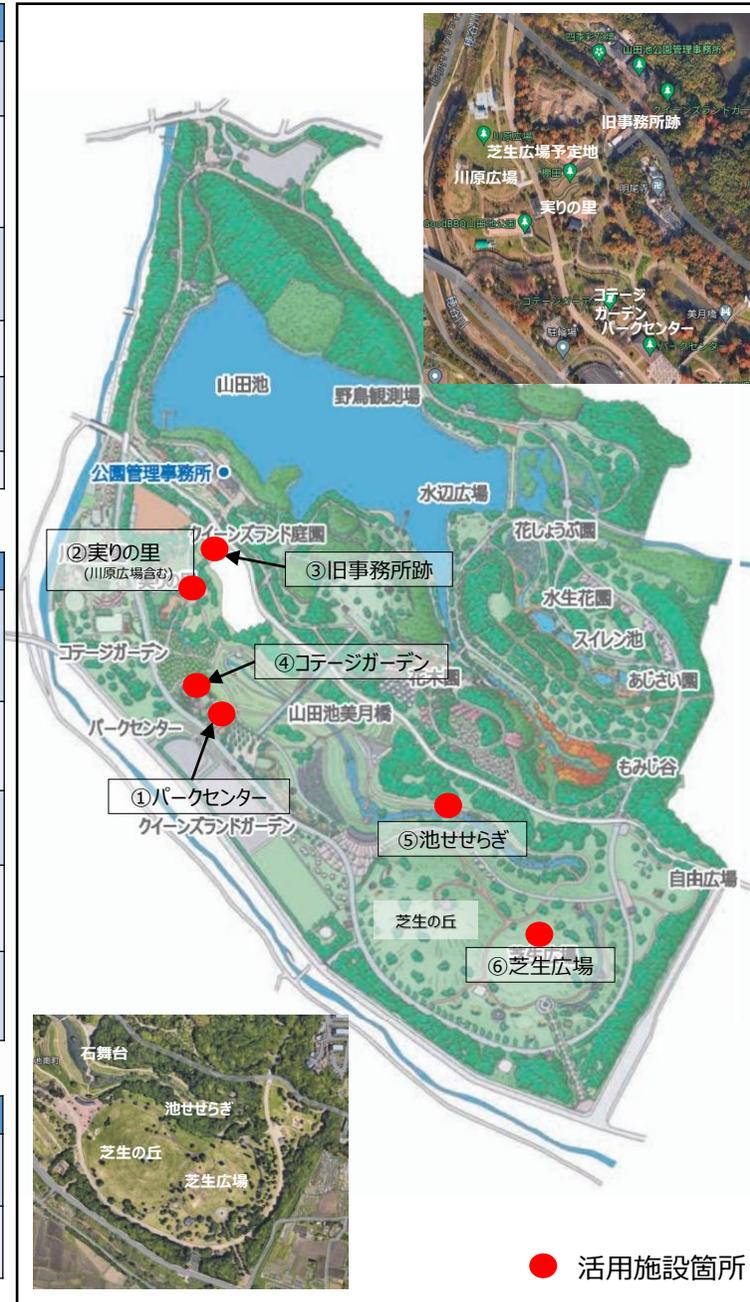
■公園の利用状況等（来園者数/属性情報など）

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 (推定式により算定)		1,031 (千人) (内訳) 春：342 (千人) 夏：248 (千人) 秋：269 (千人) 冬：172 (千人)	1,208 (千人) (内訳) 春：461 (千人) 夏：266 (千人) 秋：274 (千人) 冬：207 (千人)	1,337 (千人) (内訳) 春：450 (千人) 夏：305 (千人) 秋：342 (千人) 冬：240 (千人)	1,381 (千人) (内訳) 春：427 (千人) 夏：306 (千人) 秋：360 (千人) 冬：288 (千人)	春：3月、4月、5月 夏：6月、7月、8月 秋：9月、10月、11月 冬：12月、1月、2月
属性情報 (※)	年代	1位：70歳以上(34.9%) 2位：60歳代(29.8%) 3位：40歳代(14.1%) 4位：30歳代(11.7%)	1位：70歳以上(33.3%) 2位：60歳代(25.8%) 3位：40歳代(16.0%) 4位：30歳代(9.8%)	1位：70歳以上(54.1%) 2位：60歳代(19.6%) 3位：40歳代(8.2%) 3位：50歳代(7.7%)	1位：70歳以上(35.7%) 2位：60歳代(15.3%) 3位：20歳未満(15.1%) 4位：40歳代(12.1%)	
	誰と来園したか	1位：家族で(40.0%) 2位：一人で(30.7%) 3位：友人と(22.4%)	1位：家族で(46.0%) 2位：一人で(30.8%) 3位：友人と(19.5%)	1位：家族で(35.7%) 2位：一人で(31.3%) 3位：友人と(27.5%)	1位：家族で(49.2%) 2位：一人で(25.2%) 3位：友人と(21.0%)	【家族で】 :大人のみの約5割 :子供連れの約5割
	交通手段	1位：自転車(29.0%) 2位：徒歩(27.8%) 3位：車(27.6%)	1位：車(41.1%) 2位：徒歩(27.9%) 3位：自転車(17.3%)	1位：徒歩(33.8%) 2位：車(31.8%) 3位：自転車(22.7%)	1位：徒歩(32.9%) 2位：車(29.9%) 3位：自転車(28.4%)	※府内から来園約9割 ※来園所要時間は1時間以内が9割以上
	利用目的	1位：散歩(30.3%) 2位：花や緑を楽しむ(19.6%) 3位：イベントに参加(9.8%)	1位：散歩(35.0%) 2位：花や緑を楽しむ(20.6%) 3位：ジョギング、ウォーキング(10.7%)	1位：散歩(33.1%) 2位：花や緑を楽しむ(28.3%) 3位：ジョギング、ウォーキング(13.5%)	1位：散歩(30.3%) 2位：花や緑を楽しむ(24.2%) 3位：お子様と玩具で遊ぶ(12.8%)	

(公園の利用者ニーズ(※))

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位：カフェ、レストラン 2位：アスレチック 3位：特になし	1位：カフェ 2位：コンビニ 3位：特になし	1位：日陰やベンチ 2位：売店施設 3位：ドッグラン	1位：カフェ・売店 2位：休息施設（ベンチ、テーブル） 3位：インスタ映えスポット	
新たに欲しいイベント	1位：マルシェ(青空市) 2位：フリーマーケット、ガレージセール 3位：野外ライブ・コンサート	1位：マルシェ(青空市) 2位：野外ライブコンサート 3位：フリーマーケット、ガレージセール	1位：食や音楽のイベント 2位：子供が参加できるイベント 3位：草木のイベント	1位：食のイベント 2位：花のイベント 3位：音楽イベント	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく



● 活用施設箇所

提案を求める事業イメージ（石川河川公園）

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外にも積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

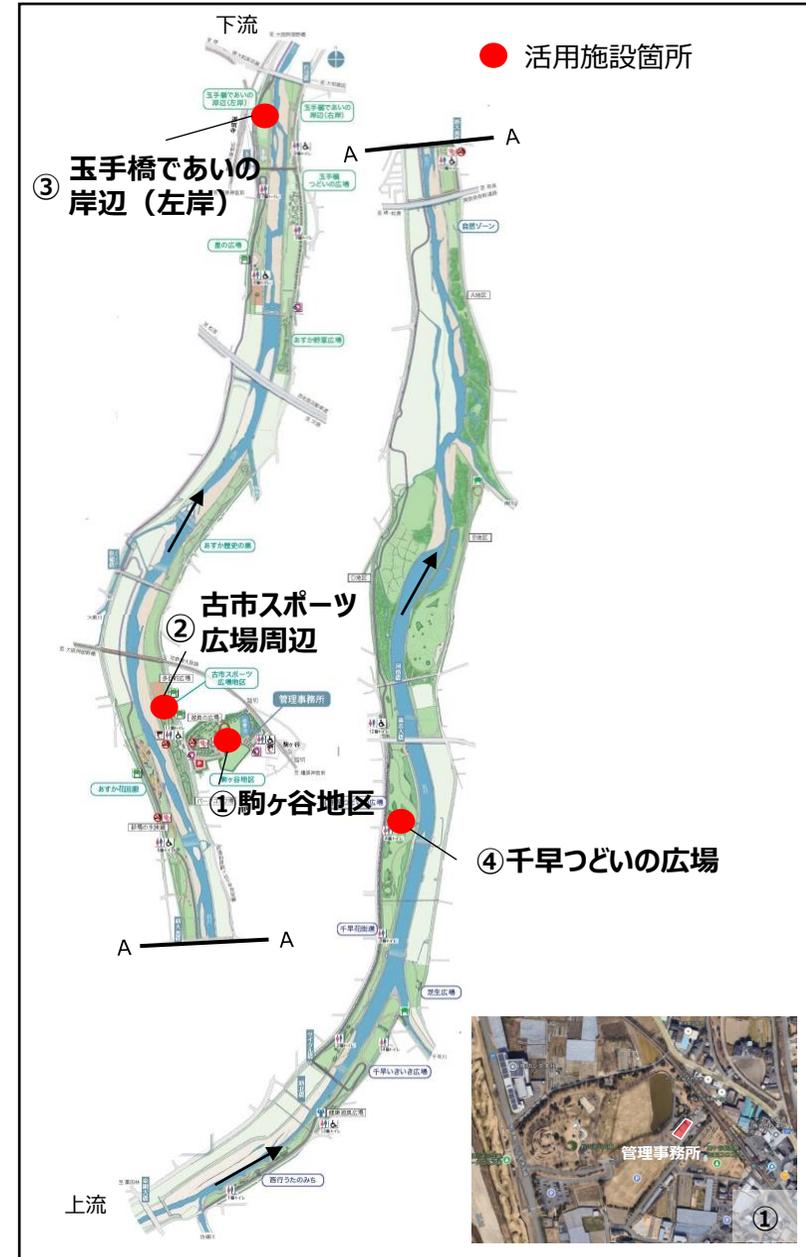
賑わい創出ゾーン	管理事務所における飲食機能の追加や地域と連携したイベントの充実 園内の移動手段の充実
レクリエーションゾーン	イベント空間の確保や河川空間を活用したアクティビティの充実
自然ゾーン	絶滅危惧種をはじめとした石川の生物に配慮した、自然の保全を行うとともに、水辺の自然に触れ合うプログラムの充実

※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図を参考に提案すること。（活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設）

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
賑わい創出ゾーン	①駒ヶ谷地区 ②古市スポーツ広場周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に飲食施設が無い場合、飲食施設の設置 ・南北に長い園内の移動手段を充実するため、園内移動支援施設の設置 ・多様なイベントの実施
レクリエーションゾーン ①②	③玉手橋であいの岸辺（左岸） ④千早つどいの広場	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション空間を創出するため、イベント広場の設置
	全域	<ul style="list-style-type: none"> ・河川を利用したプログラムの実施
自然ゾーン	全域	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全にかかるプログラムの実施



提案を求める事業イメージ（石川河川公園）

■活用施設の概要

番号	箇所名	概要	利用状況	収入
①	駒ヶ谷地区	面積:5.4ha 駐車場:約0.23ha 98台 臨時駐車場(芝生):約0.66ha 280台 管理事務所:建築面積590m ² RC造2階 遊戯場:約0.97ha(うち幼児コーナー254m ²)	・駒ヶ谷地区とその周辺にはコンビニや飲食店が少なく、公園利用者のニーズ調査でもそれらの施設の充実が求められている。	駐車場(利用料金収入) R5 7,842千円 R4 4,421千円 R3 5,942千円 ※休日のみ有料
②	古市スポーツ広場周辺	パークゴルフ場 18コース 1.25ha 芝生多目的広場 1.6ha	・パークゴルフ場年間利用者数 R5 約18,000件 R4 約17,000件	パークゴルフ場(利用料金収入) R5 5,962千円 R4 5,763千円 R3 6,169千円
③	玉手橋であいの岸边	面積:2.1ha	・道明寺駅に近く、立ち寄る人が多い。また、春のみ指定管理者が有料BBQを実施。	—
④	千早つどの広場	面積:7.6ha	・公園内で一番広い広場があり、自転車イベントを実施。 ・桜堤があり、春はお花見でにぎわう。	—

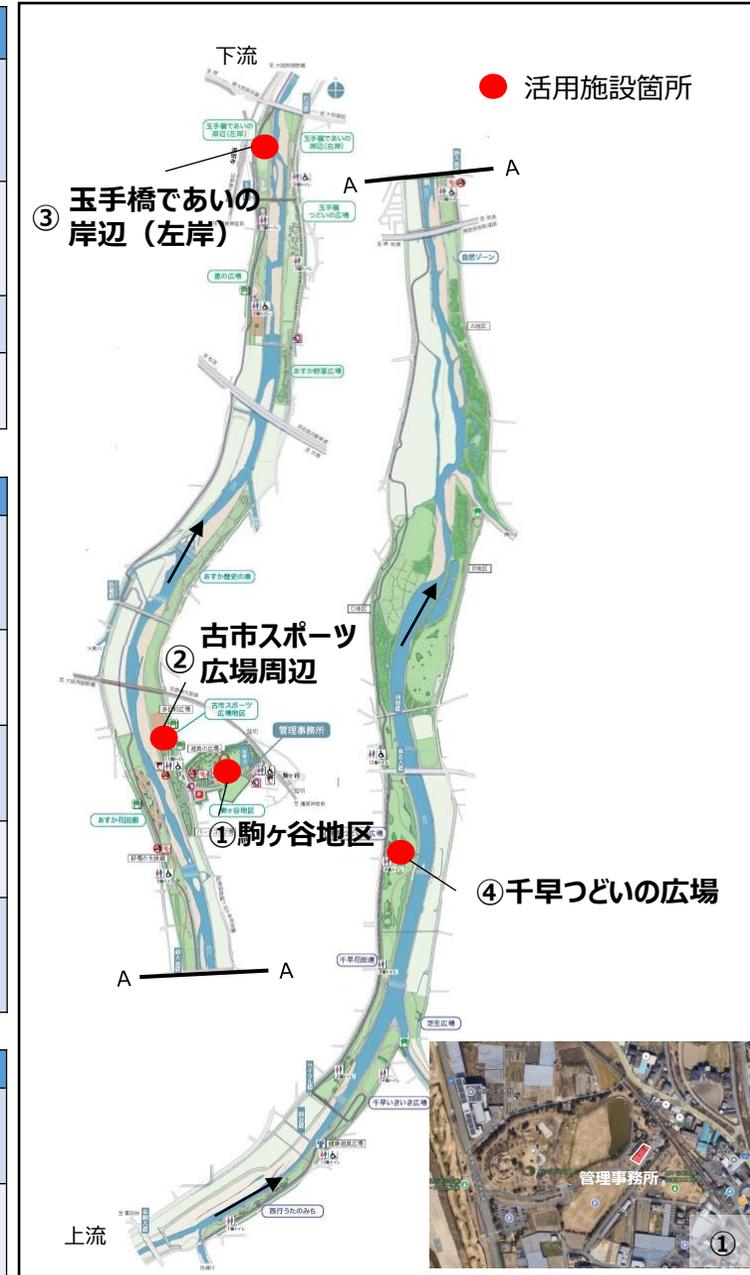
■公園の利用状況等 (来園者数/属性情報など)

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考	
来園者数 (推定式により算定)	200(千人) (内訳)春:88(千人) 夏:31(千人) 秋:48(千人) 冬:33(千人)	241(千人) (内訳)春:106(千人) 夏:37(千人) 秋:64(千人) 冬:34(千人)	191(千人) (内訳)春:71(千人) 夏:33(千人) 秋:50(千人) 冬:37(千人)	197(千人) (内訳)春:79(千人) 夏:29(千人) 秋:49(千人) 冬:40(千人)	春:3月、4月、5月 夏:6月、7月、8月 秋:9月、10月、11月 冬:12月、1月、2月	
属性情報※	年代	1位:70歳以上(33.9%) 2位:30歳代(19.1%) 3位:60歳代(15.1%) 4位:40歳代(11.6%)	1位:70歳以上(36.8%) 2位:30歳代(20.4%) 3位:40歳代(16.1%) 4位:60歳代(12.3%)	1位:70歳以上(42.2%) 2位:60歳代(12.8%) 3位:30歳代(10.3%) 4位:20歳未満(10.3%)	1位:70歳以上(29.5%) 2位:30歳代(21.8%) 3位:40歳代(19.3%) 4位:60歳代(11.8%)	
	誰と来園したか	1位:友人と(42.2%) 2位:家族で(26.8%) 3位:一人で(15.5%)	1位:友人と(37.1%) 2位:家族で(31.3%) 3位:一人で(10.9%)	1位:家族で(30.2%) 2位:友人と(29.2%) 3位:一人で(19.3%)	1位:家族で(38.5%) 2位:友人と(21.8%) 3位:団体で(クラブ等)(19.0%)	【家族】 :大人のみが約3割 :子供連れが約7割
	交通手段	1位:車(64.1%) 2位:自転車(16.1%) 3位:徒歩(12.4%)	1位:車(69.0%) 2位:自転車(16.0%) 3位:徒歩(5.7%)	1位:車(48.7%) 2位:自転車(24.5%) 3位:徒歩(17.6%)	1位:車(62.4%) 2位:自転車(14.2%) 3位:徒歩(12.0%)	※府内から来園9割以上 ※来園所要時間は1時間以内が約9割
	利用目的	1位:遊具で遊ぶ(21.1%) 2位:パークゴルフ場(19.1%) 3位:バーベキュー(17.1%)	1位:バーベキュー(28.0%) 2位:パークゴルフ場(17.0%) 3位:遊具で遊ぶ(15.9%)	1位:散歩(21.5%) 2位:運動施設の利用(16.5%) 3位:休憩、休息(14.4%)	1位:お子様と遊具で遊ぶ(24.7%) 2位:散歩(18.2%) 3位:運動施設の利用(17.8%)	

(公園の利用者ニーズ※)

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位:コンビニ 2位:カフェ 3位:特にない	1位:コンビニ 2位:カフェ 3位:特にない	1位:日陰やベンチ等の休憩施設 2位:カフェ、コンビニ、自販機 3位:ドッグラン	1位:カフェ・売店 2位:休憩施設(ベンチ、テーブル) 3位:ドッグラン	
新たに欲しいイベント	1位:特にない 2位:フリーマーケット 3位:川での魚釣り	1位:マルシェ(青空市) 2位:フリーマーケット 3位:特にない	1位:食や音楽のイベント 2位:自転車、キックバイク 3位:子供向けイベント 3位:河川や水、植物や野鳥	1位:食のイベント 2位:子ども向けイベント 3位:キッチンカー出店	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく



提案を求める事業イメージ（住吉公園）

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外についても積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

スポーツゾーン	体育館を活用した多様なスポーツを楽しむ機会の創出
歴史景観保全ゾーン	歴史的な景観や施設を保全しつつ、歴史的・文化的な価値の情報発信や歴史的資源を活かした取り組みの充実
レクリエーションゾーン	活用されていないエリアの利用促進

※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図にを参考に提案すること。（活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設）

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
スポーツゾーン	①体育館	・多様なスポーツ利用等を可能とするため、老朽化した体育館への、新たな機能の付加や取り組みの実施
歴史景観保全ゾーン	②集会所	・歴史的資源を活かしたプログラムの充実や新たな利活用
レクリエーションゾーン	③未利用地エリア	・多世代がアクティビティを楽しむため、利便性向上に資する施設の設置



提案を求める事業イメージ（住吉公園）

■ 活用施設の概要

番号	箇所名	概要	利用状況	収入
①	体育館エリア	面積：0.47ha 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建（昭和48年） 住之江競艇運営協議会から寄贈 平成11年度に耐震改修を実施 建築面積 1,789.31㎡ 延床面積 2,684.74㎡ 床面積 1階 802㎡・2階802㎡・3階110㎡	・よく利用されているが、施設の老朽化が課題	体育館（利用料金収入） 10,367,340円
②	集会所	面積：0.12ha 鉄筋コンクリート造 2階建（昭和54年） 住之江競艇運営協議会から寄贈 建築面積 136.8㎡ 延床面積 198.9㎡	・集会所の利用率が低い	集会所（利用料金収入） 632,850円
③	未利用地エリア	面積：0.19ha 自主事業により駐車場（11台）設置	・国道に面しているが、未利用の区域	駐車場（自主事業収入） R5 1,440千円（支出） R5 1,638千円

■ 公園の利用状況等（来園者数/属性情報など）

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 （推定式により算定）	888（千人） （内訳）春：249（千人） 夏：180（千人） 秋：252（千人） 冬：207（千人）	876（千人） （内訳）春：233（千人） 夏：180（千人） 秋：261（千人） 冬：202（千人）	833（千人） （内訳）春：228（千人） 夏：182（千人） 秋：252（千人） 冬：171（千人）	846（千人） （内訳）春：233（千人） 夏：184（千人） 秋：261（千人） 冬：168（千人）	春：3月、4月、5月 夏：6月、7月、8月 秋：9月、10月、11月 冬：12月、1月、2月
年代	1位：70歳以上(38.4%) 2位：30歳代(16.1%) 3位：60歳代(13.4%) 4位：50歳代(13.2%)	1位：70歳以上(48.3%) 2位：60歳代(21.3%) 3位：40歳代(11.0%) 4位：50歳代(9.5%)	1位：70歳以上(39.8%) 2位：60歳代(18.1%) 3位：50歳代(15.4%) 3位：40歳代(11.3%)	1位：70歳以上(38.0%) 2位：40歳代(18.1%) 3位：50歳代(14.9%) 4位：60歳代(12.3%)	
誰と来園したか	1位：友人と(38.8%) 2位：一人で(28.3%) 3位：家族で(24.1%)	1位：友人と(43.5%) 2位：一人で(37.5%) 3位：家族で(18.0%)	1位：家族で(27.9%) 1位：友人と(27.9%) 3位：一人で(27.1%)	1位：家族で(32.2%) 2位：友人と(26.6%) 3位：一人で(23.9%)	【家族で】 ：大人のみが約3割 ：子供連れが約7割
交通手段	1位：自転車(49.2%) 2位：徒歩(19.1%) 3位：電車(15.7%)	1位：自転車(54.9%) 2位：徒歩(28.4%) 3位：電車(6.5%) 4位：車(6.5%)	1位：自転車(46.8%) 2位：徒歩(28.2%) 3位：車(10.5%)	1位：自転車(49.1%) 2位：徒歩(25.8%) 3位：車(13.7%)	※府内から来園9割以上 ※来園所要時間は1時間以内が9割以上
利用目的	1位：運動施設の利用(36.9%) 2位：散歩(20.1%) 3位：遊具で遊ぶ(15.3%)	1位：運動施設の利用(25.2%) 2位：散歩(23.2%) 3位：花や緑を楽しむ(12.5%)	1位：散歩(27.2%) 2位：運動施設の利用(19.8%) 3位：花や緑を楽しむ(18.7%)	1位：散歩(23.4%) 2位：花や緑を楽しむ(17.4%) 3位：運動施設の利用(16.1%)	

（公園の利用者ニーズ(※)）

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位：特にない 2位：カフェ 3位：コンビニ	1位：特にない 2位：カフェ 3位：コンビニ	1位：ベンチ 2位：日陰 3位：飲食施設（カフェなど）	1位：カフェ・売店 2位：休憩施設（ベンチ・テーブル） 3位：ドッグラン	
新たに欲しいイベント	1位：特にない 2位：マルシェ(青空市) 3位：野外ライブ・コンサート	1位：特にない 2位：マルシェ(青空市) 2位：フリーマーケット 3位：野外ライブ・コンサート	1位：食や音楽のイベント 2位：フリーマーケット 3位：草木のイベント 3位：スポーツのイベント 3位：子供のイベント	1位：食のイベント 2位：フリーマーケット 3位：音楽のイベント	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく



提案を求める事業イメージ（大泉緑地）

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外についても積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

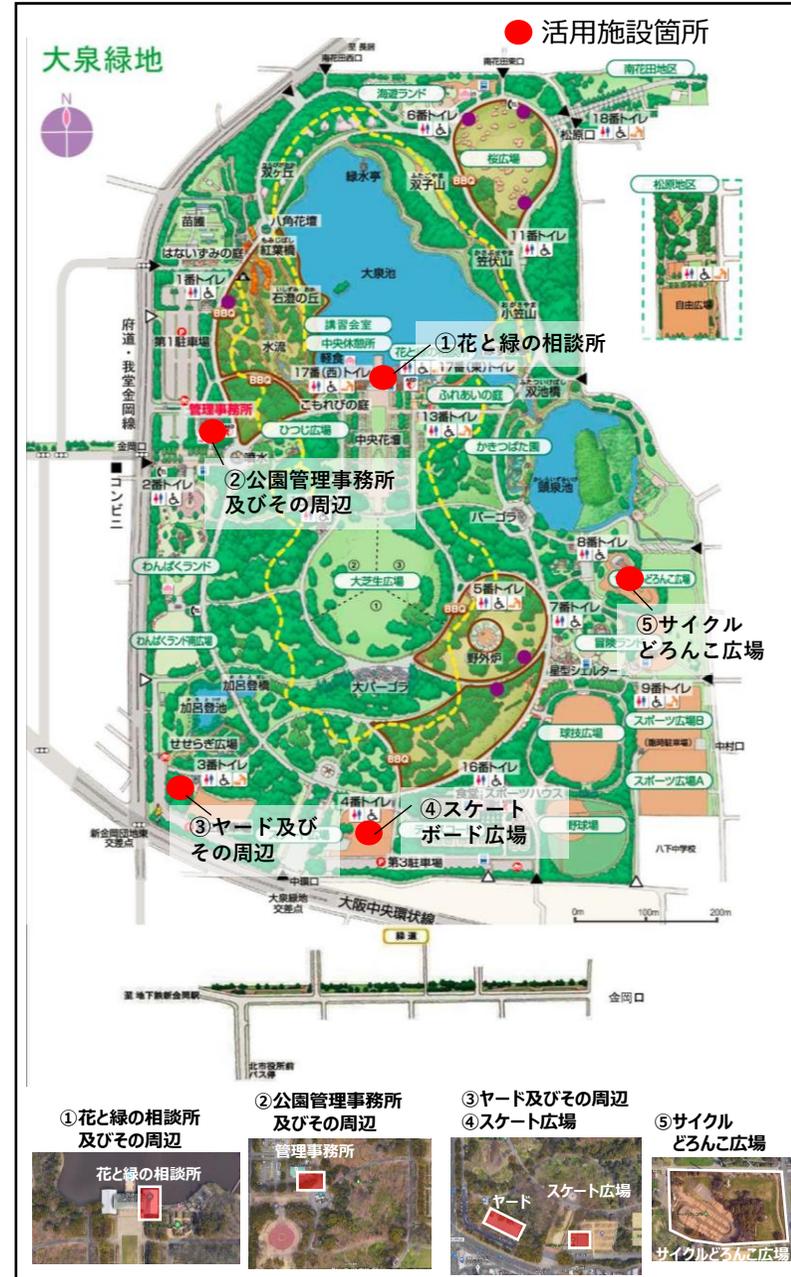
賑わい創出ゾーン	既存施設の活用や、新たな機能の付加等による、さらなる利用促進
スポーツゾーン	スケートボード広場やBMX競技ができるサイクルどろんこ広場の利用促進

※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図を参考に提案すること。（活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設）

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
賑わい創出ゾーン	①花と緑の相談所及びその周辺	・南大阪地域の緑化相談拠点としての機能の充実に加え、休息や飲食機能を付加するなどさらなる活用を図るため、花と緑の相談所プログラムの充実及び物販機能の付加
	②公園管理事務所及びその周辺	・公園のメインエントランスとして、さらなるにぎわい空間の創出を図るため、飲食や休憩所機能の付加
	③ヤード及びその周辺	・公園の森と一体となった新たなにぎわい空間を創出するため、ヤードを活用した新たな取り組みの実施
スポーツゾーン	④スケート広場	・レベルに応じた体験プログラム等の実施
	⑤サイクルどろんこ広場	・初心者向けの体験プログラム等の実施



提案を求める事業イメージ（大泉緑地）

■活用施設の概要

番号	箇所名	概要	利用状況	収入
①	花と緑の相談所及びその周辺	花と緑の相談所 延床面積 294㎡	・講習室等の利用率が低い。 ・未利用時に会議室として活用	花と緑の相談所（食堂を含む） 会議室（自主事業収入） R5 1,100千円 別途、設置許可使用料(支出)必要
②	公園管理事務所及びその周辺	公園管理事務所 RC造 2F 延床面積 647㎡	・公園のメインエントランス	なし
③	ヤード及びその周辺	ヤード 3,550㎡	・ロードサイドの立地であるが、 駐車場以外は低利用の区域	駐車場 (利用料金収入) 10,747,980円
④	スケート広場	面積 0.2ha ※令和7年度に施設改修予定	・平日・休日ともに利用者数が多い。	なし
⑤	サイクルどろんこ広場	面積 約0.74ha ※令和7年度に施設改修予定	・BMX国際大会実施	なし

■公園の利用状況等（来園者数/属性情報など）

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 (推定式により算定)		2,434 (千人) (内訳) 春: 858 (千人) 夏: 466 (千人) 秋: 657 (千人) 冬: 453 (千人)	2,731 (千人) (内訳) 春: 1,053 (千人) 夏: 479 (千人) 秋: 699 (千人) 冬: 500 (千人)	2,721 (千人) (内訳) 春: 888 (千人) 夏: 559 (千人) 秋: 735 (千人) 冬: 539 (千人)	3,004 (千人) (内訳) 春: 970 (千人) 夏: 617 (千人) 秋: 803 (千人) 冬: 614 (千人)	春: 3月、4月、5月 夏: 6月、7月、8月 秋: 9月、10月、11月 冬: 12月、1月、2月
属性情報※	年代	1位: 70歳以上(23.7%) 2位: 60歳代(21.5%) 3位: 40歳代(18.8%) 4位: 30歳代(15.3%)	1位: 70歳以上(19.3%) 2位: 30歳代(19.0%) 3位: 40歳代(18.8%) 4位: 60歳代(15.3%)	1位: 70歳以上(20.3%) 2位: 60歳代(16.8%) 3位: 30歳代(16.1%) 4位: 40歳代(16.1%)	1位: 70歳以上(26.9%) 2位: 40歳代(17.2%) 3位: 60歳代(14.2%) 4位: 50歳代(14.0%)	
	誰と来園したか	1位: 家族で(37.5%) 2位: 友人と(32.3%) 3位: 一人で(24.6%)	1位: 家族で(50.4%) 2位: 友人と(25.1%) 3位: 一人で(17.0%)	1位: 家族で(34.6%) 2位: 友人と(31.6%) 3位: 一人で(17.8%)	1位: 友人と(34.7%) 2位: 家族で(26.7%) 3位: 団体で(クラブ等)(18.8%)	【家族で】 :大人のみが約5割 :子供連れが約5割
	交通手段	1位: 車(42.4%) 2位: 自転車(31.4%) 3位: 徒歩(10.3%)	1位: 車(47.1%) 2位: 自転車(31.0%) 3位: 電車(11.0%)	1位: 車(43.6%) 2位: 自転車(31.0%) 3位: 徒歩(10.5%)	1位: 車(43.3%) 2位: 自転車(30.7%) 3位: 電車(13.1%)	※府内から来園9割以上 ※来園所要時間は1時間以内が9割程度
	利用目的	1位: 散歩(27.4%) 2位: 花や緑を楽しむ(18.7%) 3位: 遊具で遊ぶ(15.3%)	1位: 散歩(20.5%) 2位: 遊具で遊ぶ(18.8%) 3位: 花や緑を楽しむ(16.2%)	1位: 運動施設の利用(23.5%) 2位: 散歩(19.8%) 3位: 花や緑を楽しむ(16.9%)	1位: 運動施設の利用(24.4%) 2位: 散歩(19.3%) 3位: 花や緑を楽しむ(17.8%)	

(公園の利用者ニーズ(※))

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設		1位: コンビニ 2位: カフェ 3位: レストラン	1位: コンビニ 2位: カフェ 3位: レストラン	1位: ベンチ 2位: カフェ 3位: 日陰スポット	1位: カフェ・売店 2位: 売店 3位: ドッグラン	
新たに欲しいイベント		1位: マルシェ(青空市) 2位: 野外ライブコンサート 3位: フリーマーケット、 ガレージセール	1位: マルシェ(青空市) 2位: 野外ライブコンサート 3位: フリーマーケット、 ガレージセール	1位: 食や音楽のイベント 2位: 野外ライブコンサート 3位: 子供向けイベント 3位: 草木のイベント	1位: 食のイベント 2位: 自然イベント 3位: 音楽イベント	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく



提案を求める事業イメージ（蜻蛉池公園）

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外についても積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

自然ゾーン	みどり・ため池等の自然資源の魅力を保全しつつ、地形や自然を活用した利用促進
スポーツゾーン	多様なスポーツを楽しめる取組みの充実

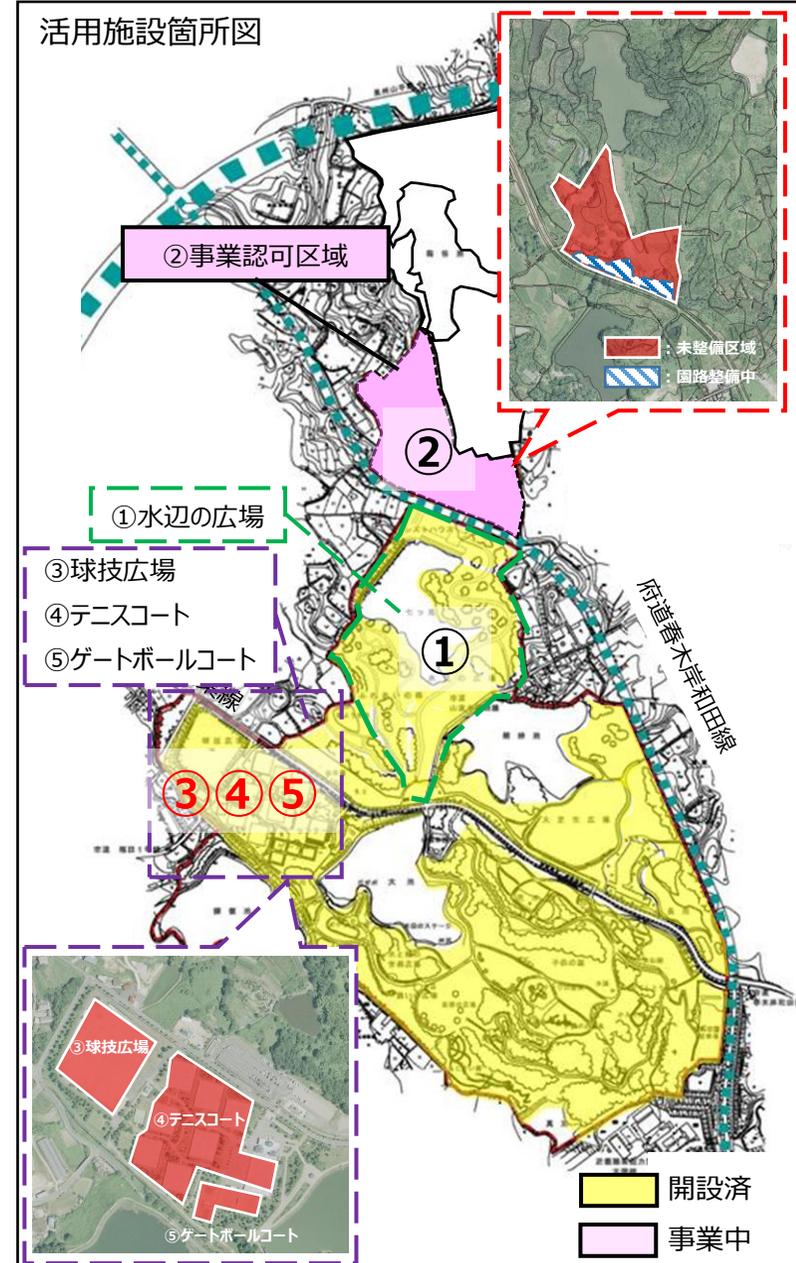
※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図にを参考に提案すること。（活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設）

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
自然ゾーン	①水辺の広場	・自然を感じられる憩いの場として活用するため、ため池や既存の自然景観を活かした施設の設置
	②事業認可区域 (資料1 2 参照)	・既存施設との一体利用を促進するとともに、多様なニーズに応じた幅広い利用を図るため、自然を楽しむ新たな施設の設置
スポーツゾーン	③球技広場 ④テニスコート ⑤ゲートボールコート	平日を含めた利用率を向上させるため、 ・新たなスポーツ機能の付加 ・平日におけるスポーツ施設の利用促進 ※現機能の規模縮小も可能

活用施設箇所図

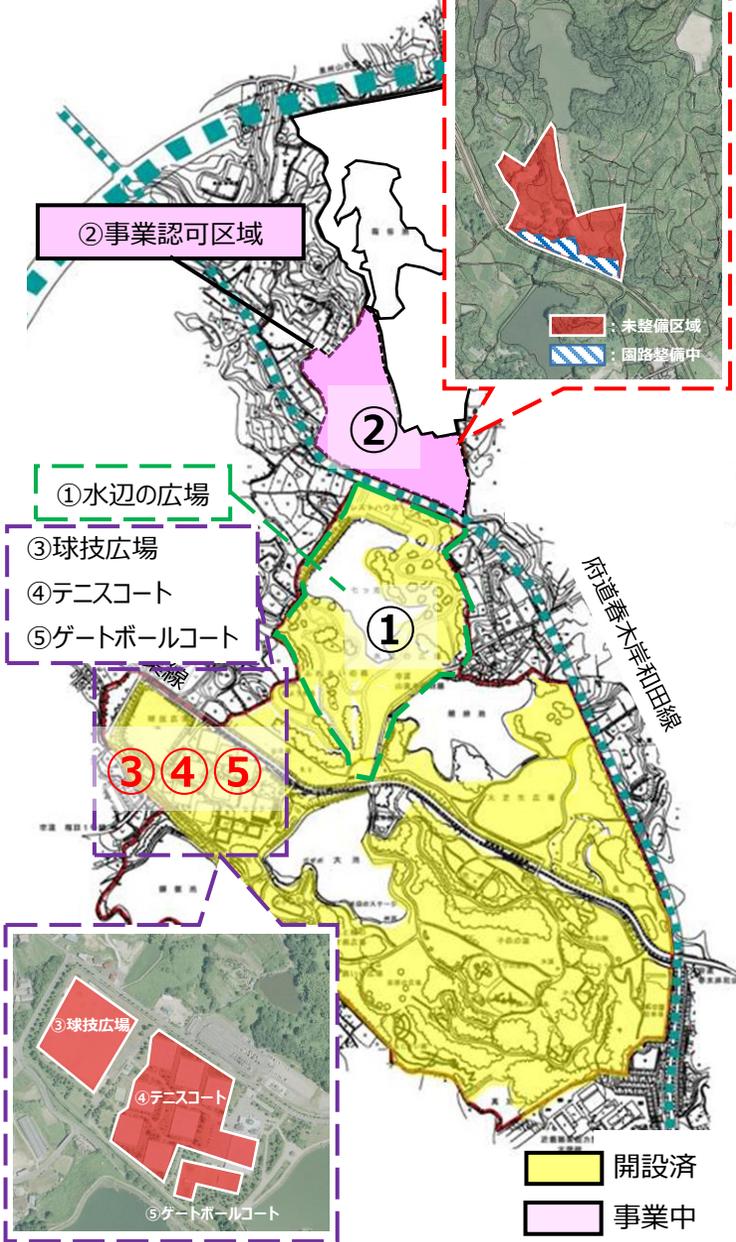


提案を求める事業イメージ（蜻蛉池公園）

■活用施設の概要

番号	箇所名	概要	利用状況	収入
①	水辺の広場	面積：約7.4ha コンセプト：なだらかな丘陵地形を活かしたエリア	・尾生稲葉線（市道）より北側の地区は利用が少ない ・水辺の広場については、現指定管理者にてコリを植栽し、利用促進を図っている	なし
②	事業認可区域	面積：約6.2ha コンセプト：岸和田丘陵の地形や既存植生を活かしたエリア	・R6年度に一部園路を大阪府にて整備し、R7年度に開設予定（約1.5ha） ・残りのエリア（約4.7ha）については、民間活力導入を検討している。	なし
③	球技広場	面積：約1.47ha	・平日の利用率が低い ・大会利用による利用は多い（土日祝）	(利用料金収入) R5 373千円
④	テニスコート	面積：約1.19ha 砂入り人工芝16面		(利用料金収入) R5 11,584千円
⑤	ゲートボールコート	面積：約0.28ha	・ゲートボールコートの利用頻度が低い	なし

活用施設箇所図



■公園の利用状況等（来園者数/属性情報など）

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 (推定式により算定)		847 (千人) (内訳) 春: 340 (千人) 夏: 152 (千人) 秋: 224 (千人) 冬: 131 (千人)	1,091 (千人) (内訳) 春: 448 (千人) 夏: 196 (千人) 秋: 258 (千人) 冬: 189 (千人)	1,176 (千人) (内訳) 春: 472 (千人) 夏: 208 (千人) 秋: 293 (千人) 冬: 203 (千人)	1,045 (千人) (内訳) 春: 360 (千人) 夏: 201 (千人) 秋: 253 (千人) 冬: 231 (千人)	春: 3月、4月、5月 夏: 6月、7月、8月 秋: 9月、10月、11月 冬: 12月、1月、2月
属性情報※	年代	1位: 30歳代(26.2%) 2位: 40歳代(25.7%) 3位: 60歳代(12.9%) 4位: 70歳以上(11.9%)	1位: 30歳代(29.6%) 2位: 40歳代(27.0%) 3位: 20歳代(12.8%) 4位: 70歳以上(10.4%)	1位: 30歳代(33.5%) 2位: 40歳代(25.8%) 3位: 20歳代(11.6%) 4位: 50歳代(10.5%)	1位: 30歳代(25.4%) 2位: 40歳代(22.1%) 3位: 20歳未満(13.3%) 4位: 70歳以上(11.8%)	
	誰と来園したか	1位: 家族で(57.6%) 2位: 友人と(28.7%) 3位: 一人で(7.1%)	1位: 家族で(64.9%) 2位: 友人と(29.7%) 3位: 一人で(3.1%)	1位: 家族で(76.2%) 2位: 友人と(31.6%) 3位: 一人で(17.8%)	1位: 家族で(66.8%) 2位: 友人と(17.0%) 3位: 団体で(クラブ等)(10.5%)	【家族で】 : 大人のみが約3割 : 子供連れが約7割
	交通手段	1位: 車(85.1%) 2位: 自転車(4.3%) 3位: 路線バス(3.2%)	1位: 車(86.5%) 2位: 路線バス(4.0%) 3位: 自転車(3.5%)	1位: 車(91.2%) 2位: 自転車(4.2%) 3位: 徒歩(2.5%)	1位: 車(88.1%) 2位: 自転車(5.2%) 3位: 電車(3.2%)	※府内から来園9割以上 ※来園所要時間は半日以内が9割程度
	利用目的	1位: 遊具で遊ぶ(39.0%) 2位: 花や緑を楽しむ(27.9%) 3位: 散歩(15.3%)	1位: 遊具で遊ぶ(40.6%) 2位: 花や緑を楽しむ(18.9%) 3位: 散歩(15.5%)	1位: 子供と遊具で遊ぶ(33.1%) 2位: 散歩(20.6%) 3位: 花や緑を楽しむ(20.1%)	1位: お子様と遊具で遊ぶ(27.4%) 2位: 花や緑を楽しむ(25.8%) 3位: 散歩(21.6%)	

(公園の利用者ニーズ※)

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位: カフェ 2位: コンビニ 3位: レストラン	1位: コンビニ 2位: カフェ 3位: スーパー(食料品)	1位: ドッグラン 2位: 日陰 3位: コンビニ、自動販売機	1位: カフェ・売店 2位: インスタ映えスポット 3位: 休息施設(ベンチ、テーブル)	
新たに欲しいイベント	1位: マルシェ(青空市) 2位: プリマーケット、ガレージセール 3位: 野外ライブ・コンサート	1位: マルシェ(青空市) 2位: プリマーケット、ガレージセール 3位: 野外ライブ・コンサート	1位: 食や音楽のイベント 2位: 子供向けイベント 3位: ふれあい動物	1位: 子ども向けイベント 2位: ふれあい動物園 3位: 食のイベント	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく

提案を求める事業イメージ（りんくう公園）

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外にも積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

賑わい創出ゾーン	海辺の景観や資源を活用した施設整備やイベント・プログラムの充実
自然レクリエーションゾーン	日本的な景観を活かした飲食・休憩機能の付加

※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図にを参考に提案すること。（活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設）

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
賑わい創出ゾーン①	①総合休憩所	・海辺の立地条件を活かし、さらなる利用促進を図るため、飲食や海洋環境学習などの機能付加
	②内海	・内海を活用したマリンレクリエーションの実施
自然レクリエーションゾーン	③萩の休憩所	・海辺の立地を活かした飲食施設の機能付加
	④五つの庭	・景観を活用した見どころづくり
全域		日本らしい景観の創出や休憩等の利用者サービスを向上させるため、 ・周辺の景観を活かした写真スポットやくつろぎ施設の設置 ・夜間利用の促進



提案を求める事業イメージ (りんくう公園)

■ 活用施設の概要

番号	箇所名	概要
①	総合休憩所	設置年度：H7年度 建築面積：492.98㎡ 構造：S造3階建て
②	内海	面積：16,000㎡ ※公園施設と海岸保全施設等の兼用工作物
③	萩の休憩所	設置年度：H7年度 建築面積：234.61㎡ 構造：S造平屋建て
④	五つの庭	シーサイド緑地には平安時代から鎌倉時代に描かれた大和絵の一場面を現代風にあわせた区域が全部で5箇所ある(杜島、野筋、萩坪、荒磯、葦手様)

番号	利用状況	収入
①	・会議スペースの貸し出し等、様々な取組を行っているが、さらなる活性化を期待	自主事業収入 レンタルスペースなど R5収入：524千円 R5支出：146千円
②	・SUP等の貸し出しによる内海を活用したレクリエーションの提供 ・内海も含めた、海を活用したレクリエーション機能の充実(環境学習等) ※マールビーチは遊泳禁止	自主事業収入 SUP事業など R5収入：20千円 R5支出：37千円

■ 公園の利用状況等 (来園者数/属性情報など)

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 (推定式により算定)		428 (千人) (内訳) 春: 111 (千人) 夏: 158 (千人) 秋: 92 (千人) 冬: 67 (千人)	458 (千人) (内訳) 春: 132 (千人) 夏: 155 (千人) 秋: 99 (千人) 冬: 72 (千人)	515 (千人) (内訳) 春: 147 (千人) 夏: 156 (千人) 秋: 128 (千人) 冬: 84 (千人)	535 (千人) (内訳) 春: 160 (千人) 夏: 141 (千人) 秋: 152 (千人) 冬: 82 (千人)	春: 3月、4月、5月 夏: 6月、7月、8月 秋: 9月、10月、11月 冬: 12月、1月、2月
属性情報※	年代	1位: 20歳代(33.6%) 2位: 30歳代(23.6%) 3位: 60歳代(12.8%) 4位: 40歳代(12.3%)	1位: 20歳代(34.4%) 2位: 30歳代(21.5%) 3位: 40歳代(13.4%) 4位: 50歳代(8.4%)	1位: 20歳代(23.2%) 2位: 30歳代(19.2%) 3位: 40歳代(16.2%) 4位: 70歳代(14.2%)	1位: 20歳代(26.4%) 2位: 50歳代(13.7%) 3位: 40歳代(13.4%) 4位: 30歳代(13.2%)	
	誰と来園したか	1位: 友人と(52.8%) 2位: 家族で(50.4%) 3位: 一人で(14.5%)	1位: 友人と(59.3%) 2位: 家族で(26.1%) 3位: 一人で(8.6%)	1位: 友人と(48.1%) 2位: 家族で(27.6%) 3位: 一人で(19.8%)	1位: 友人と(53.4%) 2位: 家族で(28.2%) 3位: 一人で(16.4%)	【家族で】 :大人のみが約6割 :子供連れが約4割
	交通手段	1位: 車(53.5%) 2位: 電車(29.1%) 3位: 徒歩(8.2%)	1位: 車(53.0%) 2位: 電車(30.1%) 3位: 自転車(7.5%)	1位: 車(48.9%) 2位: 電車(15.7%) 3位: 自転車(13.0%)	1位: 車(42.7%) 2位: 電車(23.5%) 3位: 徒歩(11.6%) 3位: バイク(11.6%)	※府内から来園8割程度 ※来園所要時間は1時間以内が7割程度
	利用目的	1位: 海浜風景楽しむ(18.1%) 2位: 散歩(13.4%) 3位: 内海で遊ぶ(12.2%)	1位: BBQ(25.0%) 2位: 写真撮影(20.0%) 3位: 海浜風景楽しむ(12.4%)	1位: 海浜風景楽しむ(21.2%) 2位: 休憩・休息(18.1%) 3位: 散歩(18.0%)	1位: 休憩・休息(33.1%) 2位: 散歩(29.8%) 3位: 花や緑を楽しむ(11.7%)	

(公園の利用者ニーズ※)

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位: カフェ 2位: コンビニ 3位: レストラン	1位: カフェ 2位: コンビニ 3位: レストラン	1位: 日陰やテーブルベンチ 2位: コンビニ・売店・カフェ 3位: インスタ映えスポット	1位: カフェ・売店 2位: 休息施設(ベンチ、テーブル) 3位: インスタ映えスポット	
新たに欲しいイベント	1位: 特にない 2位: コスプレイベント 3位: マルシェ(青空市) 3位: 野外ライブ・コンサート	1位: マルシェ(青空市) 2位: 野外ライブ・コンサート 3位: コスプレイベント	1位: 食や音楽のイベント 2位: ヨガ・花火大会 3位: リ・マーケット、スポーツイベント	1位: 食のイベント 2位: 健康イベント(子どもの体力向上) 3位: キッチンカー出店	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく

④五つの庭 葦手様 (あしてよう)

④五つの庭 野筋 (のすじ)

③萩の休憩所

④五つの庭

活用施設箇所

提案を求める事業イメージ (せんなん里海公園)

■ 提案を求める事業イメージ等

マネジメントプランを踏まえ、各ゾーンでの府が求める事業の方向性や府が想定する事業イメージを以下に示す。なお、下表に記載している活用施設や事業イメージ以外についても積極的に提案を求める。

【各ゾーンでの府が求める事業の方向性】

レクリエーションゾーン	レクリエーションの場として、海辺の景観や資源を活用したイベント・プログラムの充実
賑わい創出ゾーン	施設の利用促進にかかる取り組みの充実や、海辺の立地を活かした新たな取り組みの充実

※各ゾーンの範囲等については、資料2 マネジメントプランをご参照ください。

【府が想定する事業イメージ】

上記を踏まえ、事業実施にあたり、民間ノウハウを活かした自主事業として施設整備等が必要な場合には、下表及び右図にを参考に提案すること。(活用施設箇所とは、当該施設の改修や撤去等を行う場合、一部、府費負担を検討中の施設)

ゾーン	活用施設	想定する事業イメージ
レクリエーションゾーン①②	①ときめきビーチ ②ピチピチビーチ 周辺	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場が開催されない場合を想定し、年間を通じた活用を図るため、周辺広場への新たな施設の設置 海辺の景観や環境を活かした、飲食サービスやレクリエーション等の取組の実施
賑わい創出ゾーン	③さとうみ磯浜	<ul style="list-style-type: none"> 海洋生物とのふれあいを通じた環境学習等、海辺の立地を活かしたプログラムの実施
	④潮騒ビバレー	<ul style="list-style-type: none"> 公園全体の魅力向上につなげるため、公園利用を促進するための機能付加
	⑤しおさい楽習館	<ul style="list-style-type: none"> 周辺に飲食施設が無いため、飲食や販売機能の付加
全域		<ul style="list-style-type: none"> 公園全体の魅力向上につなげるため、公園の魅力が向上する新たな施設の設置

※現在地元市町で実施している公園区域外における夏季の海水浴プログラムを併せて実施する提案も可能とします。



提案を求める事業イメージ (せんなん里海公園)

■ 民活導入候補箇所の概要

番号	利用状況	収入
①	・現在海水浴は地元町と漁業協同組合が実施	-
②	・令和5年度まで海水浴は地元市と漁業協同組合が実施 ・令和6年度は未実施	-

番号	箇所名	概要
③	さとうみ磯浜	設置年度：H29年 入り江を模して人工的に造られた磯浜
④	潮騒ビバレー	設置年度：H8年 建築面積：2,302㎡ スタンド収容人数 2,128席、砂コート 2面 多目的ルーム、会議室、カフェ等
⑤	しおさい楽習館	設置年度：H29年 建築面積：217.8㎡

■ 公園の利用状況等 (来園者数/属性情報など)

		H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
来園者数 (推定式により算定)		433 (千人) (内訳) 春: 155 (千人) 夏: 177 (千人) 秋: 62 (千人) 冬: 39 (千人)	429 (千人) (内訳) 春: 163 (千人) 夏: 155 (千人) 秋: 67 (千人) 冬: 44 (千人)	275 (千人) (内訳) 春: 90 (千人) 夏: 81 (千人) 秋: 64 (千人) 冬: 40 (千人)	314 (千人) (内訳) 春: 93 (千人) 夏: 121 (千人) 秋: 65 (千人) 冬: 35 (千人)	春: 3月、4月、5月 夏: 6月、7月、8月 秋: 9月、10月、11月 冬: 12月、1月、2月
属性情報※	年代	1位: 30歳代(20.5%) 2位: 60歳代(18.3%) 3位: 70歳以上(18.0%) 4位: 40歳代(17.8%)	1位: 30歳代(20.0%) 2位: 40歳代(16.3%) 3位: 70歳以上(14.3%) 4位: 10歳代(13.3%)	1位: 40歳代(21.3%) 2位: 70歳以上(21.3%) 3位: 30歳代(20.5%) 4位: 50歳代(12.0%)	1位: 70歳以上(19.8%) 2位: 40歳代(19.3%) 3位: 30歳代(17.3%) 4位: 50歳代(15.0%)	
	誰と来園したか	1位: 家族で(48.6%) 2位: 友人と(25.4%) 3位: 一人で(12.3%)	1位: 家族で(52.5%) 2位: 友人と(28.8%) 3位: 一人で(13.5%)	1位: 家族で(45.8%) 2位: 友人と(22.3%) 3位: 一人で(21.5%)	1位: 家族で(51.1%) 2位: 友人と(23.3%) 3位: 一人で(14.8%)	【家族で】 : 大人のみが約3割 : 子供連れが約7割
	交通手段	1位: 車(56.8%) 2位: 徒歩(22.9%) 3位: 電車(8.6%)	1位: 車(69.7%) 2位: 徒歩(12.8%) 3位: 自転車(10.8%)	1位: 車(58.0%) 2位: 徒歩(20.3%) 3位: 自転車(10.5%)	1位: 車(60.9%) 2位: 徒歩(20.5%) 3位: 自転車(8.0%)	※府内から来園8割以上 ※来園所要時間は1時間以内が8割程度
	利用目的	1位: 遊具で遊ぶ(26.3%) 2位: 散歩(18.7%) 3位: 海辺を楽しむ(18.5%)	1位: 遊具で遊ぶ(30.2%) 2位: 海辺を楽しむ(15.5%) 3位: 散歩(12.9%)	1位: 散歩(24.8%) 2位: 子供と遊具遊び(15.4%) 3位: 休憩・休息(13.0%) 3位: 花や緑を楽しむ(13.0%)	1位: 散歩(28.2%) 2位: お子様と遊具で遊ぶ(19.5%) 3位: 休憩・休息(14.7%)	

(公園の利用者ニーズ※)

	H30年度	R元年度	R4年度	R5年度	備考
新たに欲しい施設	1位: カフェ 2位: コンビニ 3位: レストラン	1位: コンビニ 2位: カフェ 3位: 温浴施設	1位: 日陰 2位: ドッグラン 3位: キャンプ場	1位: カフェ・売店 2位: 休息施設 3位: キャンプ場	
新たに欲しいイベント	1位: マルシェ(青空市) 2位: フリーマーケット、 ガレージセール 3位: 野外ライブ・コンサート	1位: マルシェ(青空市) 2位: フリーマーケット、 ガレージセール 3位: 野外ライブコンサート	1位: 食や音楽のイベント 2位: 特になし 3位: 花火大会	1位: 食のイベント 2位: キッチンカー出店 3位: 音楽のイベント	

※上記データは毎年度の利用者満足度調査結果に基づく

